

< 資料 >

平成26年6月30日
東京電力株式会社
福島復興本社

福島復興本社における 賠償・除染・復興推進に関する取り組み状況

原子力損害賠償の進捗状況	・・・・・・・・・・	P 1～2
除染推進活動状況	・・・・・・・・・・	P 3～4
復興推進活動状況	・・・・・・・・・・	P 5～6

原子力損害賠償の進捗状況について

<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

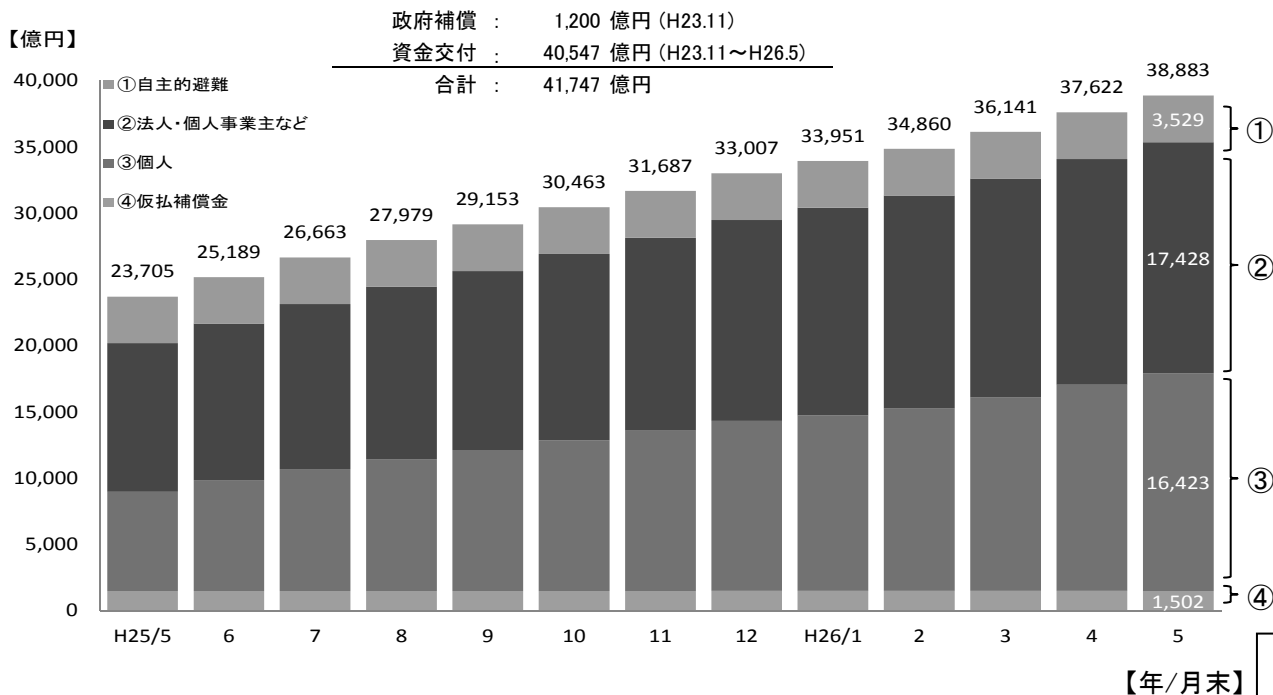
平成26年6月27日現在

	個人	個人(自主的避難 等に係る損害)	法人・個人 事業主など
ご請求について			
ご請求書受付件数(延べ件数)	約625,000件	約1,300,000件	約265,000件
本賠償の状況について			
本賠償の件数(延べ件数)	約547,000件	約1,287,000件	約229,000件
本賠償の金額 ※	約1兆7,508億円	約3,529億円	約1兆7,740億円
これまでのお支払い金額について			
本賠償の金額 ※	約3兆8,777億円①		
仮払補償金	約1,502億円②		
お支払い総額	約4兆0,279億円①+②		

※ 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

<賠償金のお支払い状況※>

※本賠償のお支払開始:H23年10月



<賠償項目別の合意金額の状況>

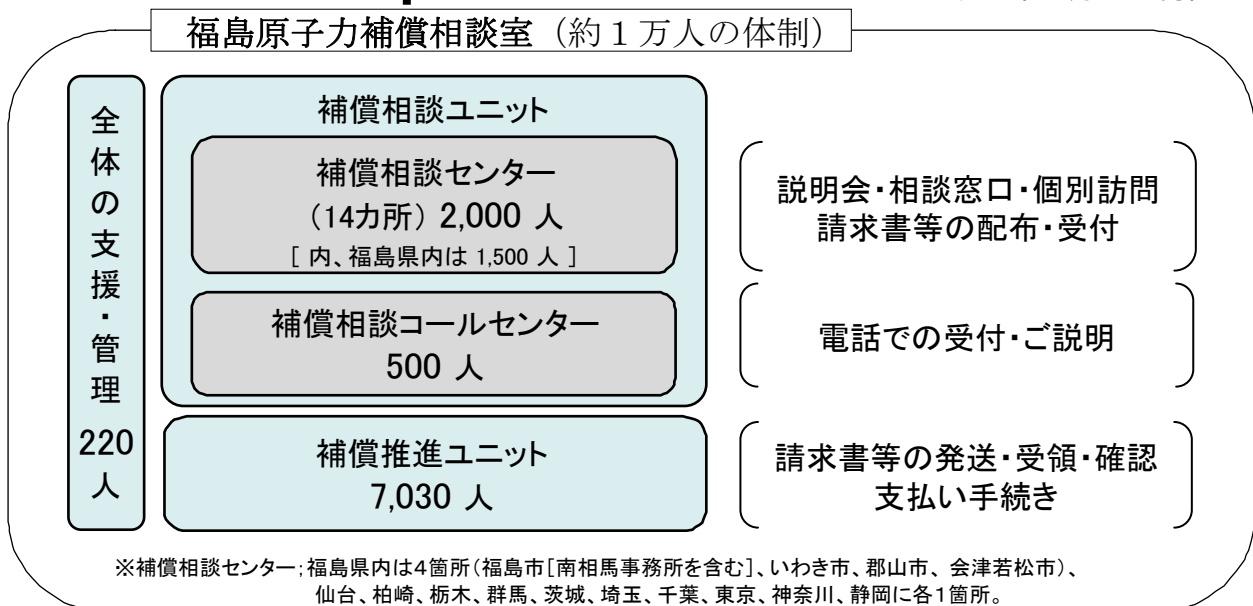
	合意いただけの実績※ (平成26年5月末現在)
I. 個人の方に係る項目	14,237億円
検査費用等	1,940億円
精神的損害	6,668億円
自主的避難等	3,625億円
就労不能損害	2,002億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	16,655億円
営業損害	3,898億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	11,410億円
間接損害等その他	1,345億円
III. 共通・その他	8,310億円
財物価値の喪失又は減少等	8,060億円
福島県民健康管理基金	250億円
合計	39,203億円

※振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

<原子力損害賠償の体制>

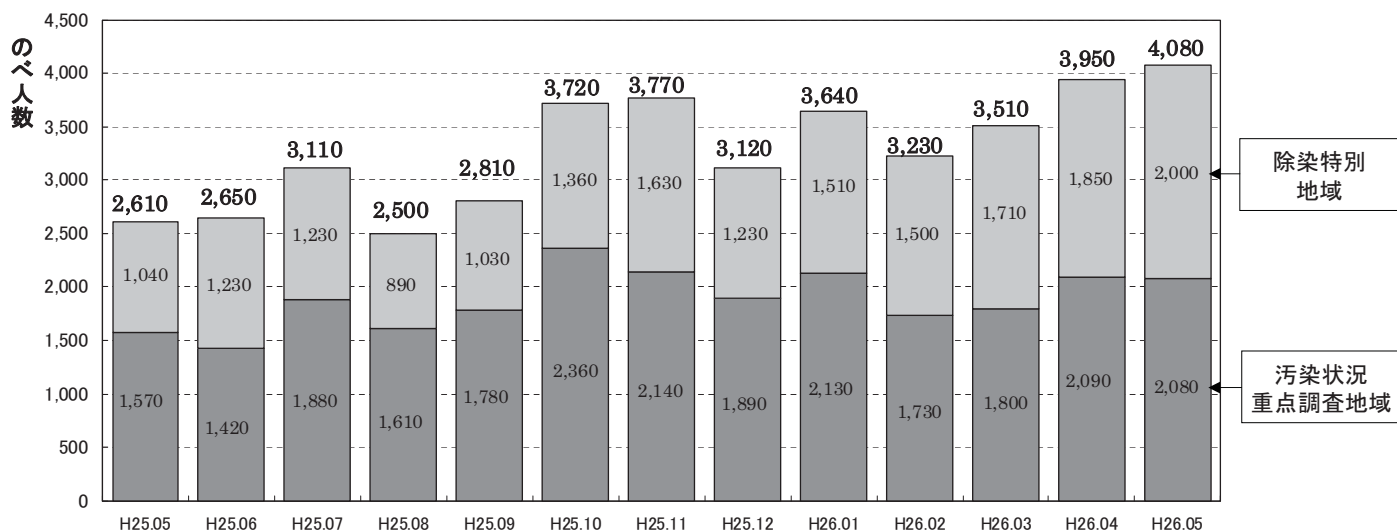
福島復興本社

平成26年 6月 1日現在



除染推進活動実績

- **除染特別地域（旧警戒区域＋計画的避難区域の11市町村）での取り組み**
環境省から委嘱を受け、国が除染を行う業務に対し、放射線管理、モニタリング、除染等に関する技術面での対応。【活動人数累計 約22,180人】
- **汚染状況重点調査地域（福島県内40市町村）での取り組み**
環境省から委嘱を受け、市町村が中心となり行う業務に対し、モニタリング、除染等に技術面での対応。【活動人数累計 約28,390人】
- **平成25年1月からの除染業務対応人員の累計は約50,570人**（平成26年5月末現在）



※記載の人数は復興推進活動として除染関連活動に従事した社内応援者も含まれており、その累計は約3,150人。
※グラフの記載の人数は、四捨五入の関係で合計値が一致しない。

除染推進活動状況

〈除染終了後の帰還に向けた施策への対応〉

【実施時期】平成26年4月～（継続中）

【実施人数】社員 延べ983人（5月末現在）

【実施内容】

- ・ 除染特別地域のうち、除染が終了した地域で国が実施する除染後の状態確認等について、国からご要請をいただき、指向性モニタリングをはじめ、当社が持つ様々な計測技術・ノウハウを活用して対応。
- ・ 今後も、国とご相談しながら、継続的に対応していく。



除染後の状態調査（指向性モニタリング）



除染後の状態調査（土壌表面線量計測）

除染推進活動状況

〈JR常磐線の運転再開に向けたモニタリング〉

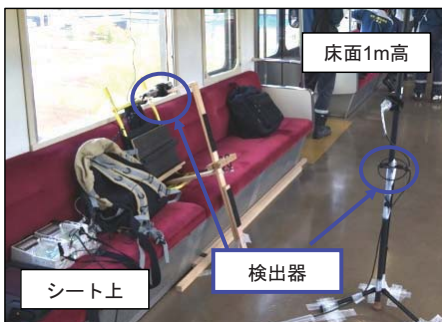
【実施時期】平成26年5月2日，10日

【実施場所】JR常磐線 広野駅～竜田駅間 8.5km

【実施人数】社員 延べ8人

【実施内容】

- ・内閣府より、JR常磐線（広野駅～竜田駅間）の運転再開に向け、同区間を走行する列車内及び線路上（車外）での放射性物質の影響調査のご要請を受けモニタリングを実施。
- ・運転再開後の安心情報として、列車中央で立っている状態・シートに座った状態での乗客を模擬し、各々の位置での計測結果をご提供。



車輦内モニタリング



軌道上モニタリング



定点モニタリング

除染推進活動状況

〈除染加速化に向けたモニタリング手法の福島市への提案〉

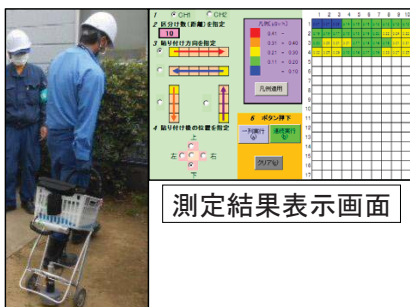
【実施時期】平成26年5月29日，30日

【実施場所】福島市

【実施人数】社員 延べ10人

【実施内容】

- ・住宅敷地内の汚染状況を短時間で正確に把握し、住民に分かりやすく示すことの出来る新技術の適用に関する福島市の検討に対し、当社からモニタリング手法を提案。
- ・地表部分を確認するための歩行モニタリング装置、屋根・雨樋などの高所を確認するための高所点検カメラ・高所測定機器を提案し、実機を用いた現地試験の結果、新手法として採用頂くことが決定。



歩行モニタリング



高所点検カメラ※



高所測定機器※

復興推進活動実績

■ 現在までの主な取り組み

- 5月は、役場本庁舎からの書類搬出[双葉町]（52人、1日間）、仙台平キャンプ場の清掃[田村市]（延べ46人、3日間）、屋内清掃・片付け[広野町、南相馬市、楡葉町、富岡町、浪江町、川内村]（延べ1,887人、31日間）、リサイクル家電等回収に伴う屋外搬出[浪江町、楡葉町]（延べ560人、26日間）等を実施。
- 5月の活動実績は延べ6,108人となり、過去最大の実績。
- 平成24年12月からの活動実績数は、延べ約74,200人となった。

<5月の活動実績>

活動内容	延べ人数
役場本庁舎からの書類搬出（双葉町）	52人
仙台平キャンプ場の清掃（田村市）	46人
屋内清掃・片付け （広野町、南相馬市、楡葉町、富岡町、浪江町、川内村）	1,887人
リサイクル家電等回収に伴う屋外搬出（浪江町、楡葉町）	560人
主な活動	2,545人
従来からの活動等<一時帰宅対応等>	3,563人
5月の活動実績合計	6,108人
平成24年12月以降の累計	74,204人

復興推進活動状況

<双葉町役場本庁舎からの書類搬出>

【実施時期】 平成26年5月29日

【実施場所】 双葉町内

【実施人数】 社員 52人

【実施内容】

- ・ 双葉町内の役場本庁舎に保管されている書類の箱詰め・線量測定・搬出を行い、いわき事務所のあるいわき市内へ運搬。



書類の線量測定・搬出状況[平成26年5月撮影]

復興推進活動状況

〈仙台平キャンプ場の清掃〉

【実施時期】平成26年 5月 8日～10日

【実施場所】田村市内

【実施人数】社員 延べ46人

【実施内容】

- ・震災後初めて、今年7月にキャンプ場を再開するにあたり、敷地内のコテージ・炊事場・周辺道路等を清掃。



仙台平キャンプ場清掃の状況[平成26年5月撮影]